

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

● KIT 遺伝子変異解析-GIST

(依頼コード No.11947)

受託開始日 2018年6月1日(金) 受付分より

消化管間質腫瘍(gastrointestinal stromal tumor:GIST)は、胃や腸などの消化管の壁にできる「粘膜下腫瘍」と呼ばれる腫瘍の一種です。GISTの発生原因はほとんどがKIT(*c-kit*)遺伝子の機能獲得性突然変異であり、その約90%で認められ、増殖能にも深く関与しています。

GISTの治療は、基本的には外科手術が最も有効で第一選択となりますが、イマチニブをはじめとしたチロシンキナーゼ阻害剤(TKI)による治療が選択肢となる、再発あるいは切除不能な症例が日本で1,000~1,500人/年と推計されています。KIT遺伝子の変異は主にエクソン9、11、13、17で認められますが、遺伝子変異の発生部位によりTKIによる治療効果が異なることが示されています。また、KIT遺伝子に変異をもたない症例では、TKIの効果を期待することが難しいと言われていました。本検査は、GISTの予後予測や治療法の選択に有用な情報を提供いたします。

- 遺伝子名につきまして、国際ヒトゲノム機構(HUGO)の遺伝子命名委員会(HGNC)による名称記載「KIT」を用いることにいたしました。

HUGO: Human Genome Organisation
HGNC: HUGO Gene Nomenclature Committee

裏面に続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社: 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3
総合研究所: 〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1
☎ 049(232)3131 FAX 049(232)3132

検査項目検索用
アプリ B-Book



Google play

Available on the
App Store



電子カルテはビー・エム・エル

Qualis
Medical Station

受託要領

依頼コードNo.	11947
検査項目名	KIT変異解析-GIST
統一コード	8C059-9951-070-848
検体必要量	組織 50mg
容器	B-20 遺伝子診断組織他凍結サンプル用
検体の保存方法	凍結
所要日数	24～30
検査方法	ダイレクトシーケンス法
基準値	なし
単位	なし
報告範囲 (報告形式)	【別紙報告】 遺伝子変異・遺伝子多型の有無、変異パターン
検査実施料/判断料	2500点/34点(尿・糞便等検査)
備考	解析対象:エクソン 9, 11, 13, 17

【参考文献】

Lasota J. et al.: Histopathology 53, 245-266, 2008.

Maleddu A. et al.: Journal of Translational Medicine 9, 75, 2011. doi: 10. 1186/ 1479-5876-9-75.